

これからの時代を生きていく生徒たちのために

本号の特集である「光村の『国語』 これからの針路」と題した対談を高木まさき先生、阿部昇先生にお願いした日は、奇しくも国際的な学力到達度調査である「PISA」の2009年調査結果が公表された日でした。対談の中にもPISA調査に関する話題は数多く出されています。公表結果を見ると、いわゆるPISA型「読解力」は、最も順位が高かった2000年調査時と同じ8位に戻りました。順位が14位に急落し、PISAショックなる言葉を生んだ03年、さらに06年調査では15位に続落。ここにきてやっと学力低下に歯止めがかかったと、ほっとする向きもあるようです。

それまで語群から単語を選んだり、空欄を埋めたりといった問題に慣れていた生徒たちは、「自分で考え、意見を記述する」という課題解決型の問題を前にして、「無答」という方法をとるしかありませんでした。

それから十年、「読解力向上プログラム」が打ち出され、「全国学力・学習状況調査」が実施され、学習指導要領が改訂されました。現在検定申請中の平成二十四年度版教科書は、このような学力に関わるめまぐるしい動きの中で編集されたものです。新たに教科書の中に位置付けを考えていかなければならない項目などもさまざまありました。その構成は春頃ご覧いただけるものになるかと思います。

編集部では、これからの時代を生きていく生徒たちの「生きる力」となるように、そして、「学ばうしさ」を感じてもらえるような国語教科書を目ざして編集を進めてまいりました。同時に、この教科書を使われる先生方のご指導のしやすさを考えたつもりであります。

新しい光村の「国語」にご期待ください。

平成22年度版「中学校国語」教科書訂正のお知らせとおわび

教科書訂正のお知らせが遅れましたことをお詫びいたします。

なお、光村図書発行の教科書の訂正につきましては、随時ホームページでお知らせしております。合わせてご覧いただければ幸いです。

▶ <http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>

国語1	ページ	行	原文	訂正文
	132	3～5	二〇一〇年には、日本で作られるプラスチック製品の売り上げの <u>二〇</u> パーセントが生分解性プラスチックになると予想されている。	二〇一〇年代後半には、日本で作られるプラスチック製品の売り上げの <u>二〇</u> パーセントが生分解性プラスチックになると予想されている。
	249	文語 形容動詞 活用表	し <u>ず</u> か	し <u>づ</u> か
国語2	ページ	行	原文	訂正文
	248	文語 形容動詞 活用表	し <u>ず</u> か	し <u>づ</u> か
国語3	ページ	行	原文	訂正文
	229	上5	ジャンル	②ジャンル
	248	文語 形容動詞 活用表	し <u>ず</u> か	し <u>づ</u> か